

公開講座

健やかに生きる

～病気の予防こそ最善の医療～

●日時 2017年 **3月18日** (土) 14:00～

受付) 13:30～
 講演) 14:00～15:30
 相談コーナー) 15:30～17:00

参加費
無料

●場所 兵庫医療大学 M112 講義室

●講師 兵庫医療大学
 共通教育センター 教授 **末廣 謙** (内科医)



病気の予防は早期発見・早期診断が最も重要と思いませんか？
 これは正しくありません。

早期発見ということは、すでに病巣ができあがりつつあるということになります。最も有効な予防はまだ発病していないけれど放置すると病気になってしまう「未病」の状態をどのように把握するかに尽きます。すべての医療はこれを目標として実践されることが望ましいのです。

健康相談コーナー <事前お申込みの方が優先となります>

- | | | |
|---------------------|-------|---------------|
| ◆講演テーマに沿った内容でお答えします | 末廣 謙 | [内科医] |
| ◆薬について | 中野 博明 | [薬学部] |
| ◆健康について | 魚崎 須美 | [看護学部] |
| ◆リハビリについて | 永井 宏達 | [リハビリテーション学部] |

お申し込み お電話・FAX・メールで下記までお申し込みください。
 〒650-8530 神戸市中央区港島 1-3-6 兵庫医療大学 (地域連携担当)
 TEL 078-304-3021 FAX 078-304-2713
 メール chi-ki@ml.huhs.ac.jp

*参加証は発行いたしません。当日直接会場にお越しください。

*車でお越しの方は、駐車場の数に制限がありますので、事前にご連絡ください。

*兵庫医療大学へのアクセス ポートライナー「三宮駅」より「みなとじま」下車西へ徒歩約10分



健やかに生きる ～病気の予防こそ最善の医療～

兵庫医療大学 共通教育センター 教授 末廣 謙



健康診断は病気を早期に発見して治療することと考えている人が多いと思いますが実は正しくありません。病気の早期発見ということは体にはすでに病気が存在しているけれど症状も示していない状態です。病気の発生自体を防ぐことの方がはるかに重要です。

病気にはなっていないけれど放置すると病気になってしまう状態を発見して病気を防ぐことを予防医学では一次予防といいます。もし病気になってしまっても、できるだけ早期に発見して処置しようとするのが二次予防です。さらに病気が発生してしまっても悪化を防ぐ、合併症や後遺症を予防するのが三次予防です。このように予防医学には3段階があるのです。

判りやすいように実際の病気で説明すると、2型糖尿病の場合、血族の人に糖尿病治療の人が存在し生活習慣が乱れている人に対して食事や運動について気をつけてもらい糖尿病発症を未然に防止するのが一次予防、糖尿病になってしまっても薬物治療や運動療法で悪化を防ぎ、致命的な合併症発症を予防するのが二次予防、さらにたとえ合併症になってしまっても、これを治療し可能な限り元の状態に戻すのが三次予防です。現在おこなわれるべき医療のすべては病気の予防につきると思います。

●次回公開講座予定 2017年 春（日程未定）
兵庫医療大学 薬学部

=====FAXでお申し込みの方は下記をご利用ください=====

ポアイ4大学による連携事業

3月18日 公開講座 「健やかに生きる」 参加申込用紙

ふりがな		性別
お名前		男性 ・ 女性
連絡先電話番号	()	

(FAX 送信先 078-304-2713)